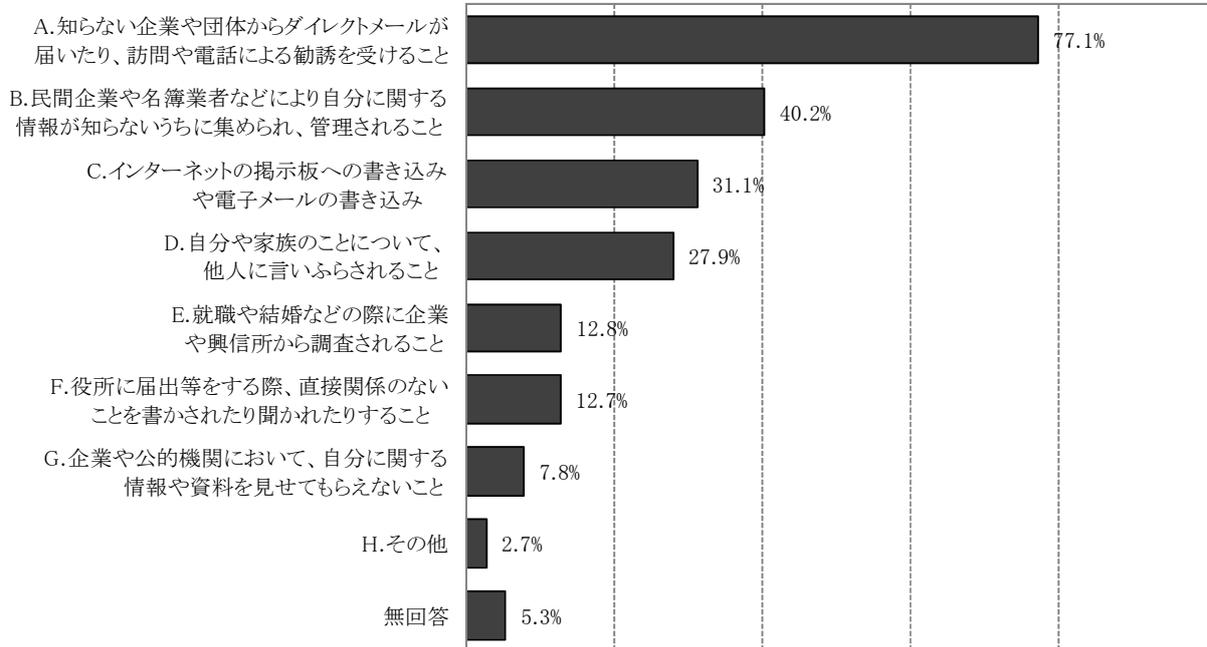


### 問 31（個人のプライバシーが守られていないと感じるもの）

個人のプライバシーに関して、あなたはどのような場合にプライバシーが守られていないと感じますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。（はいいくつでも）

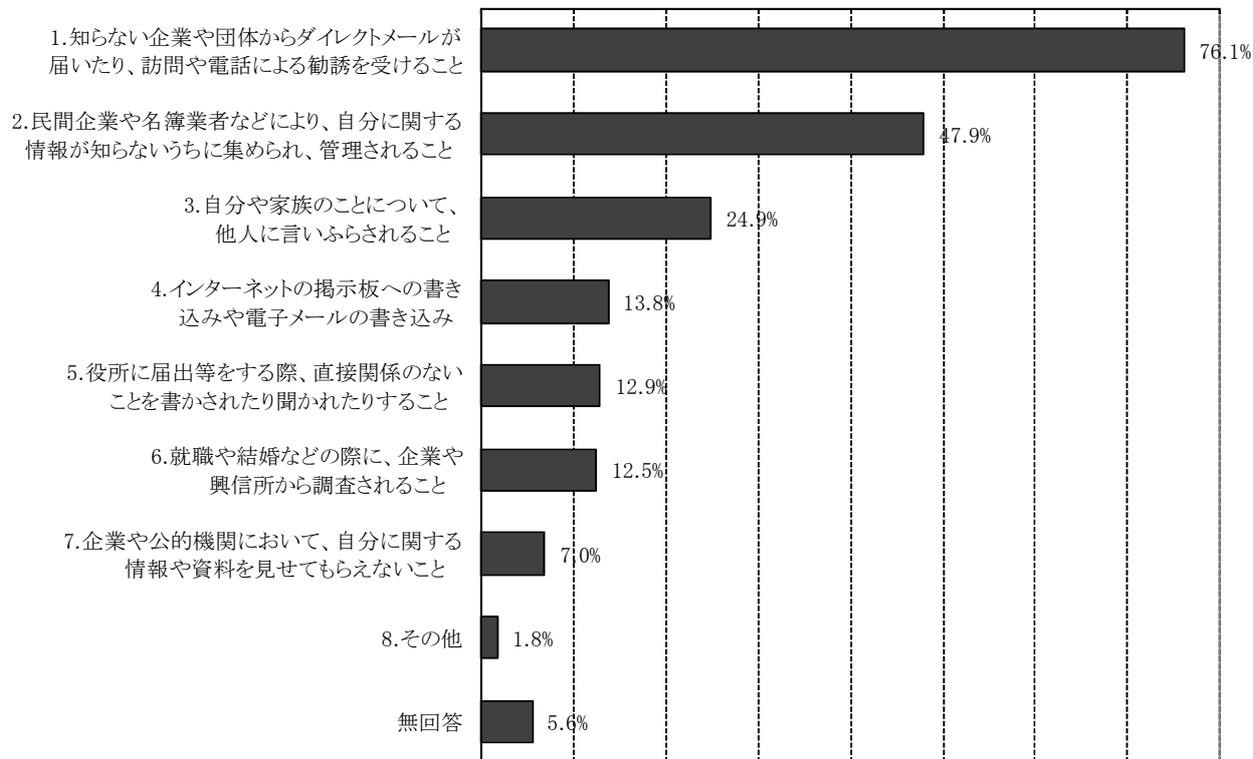


■個人のプライバシーが守られていないと感じるものは、「A. 知らない企業や団体からのダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」（77.1%）が最も高かった。次いで「B. 民間企業や名簿業者などにより自分に関する情報が知らないうちに集められ、管理されること」（40.2%）、「C. インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」（31.1%）などとなっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

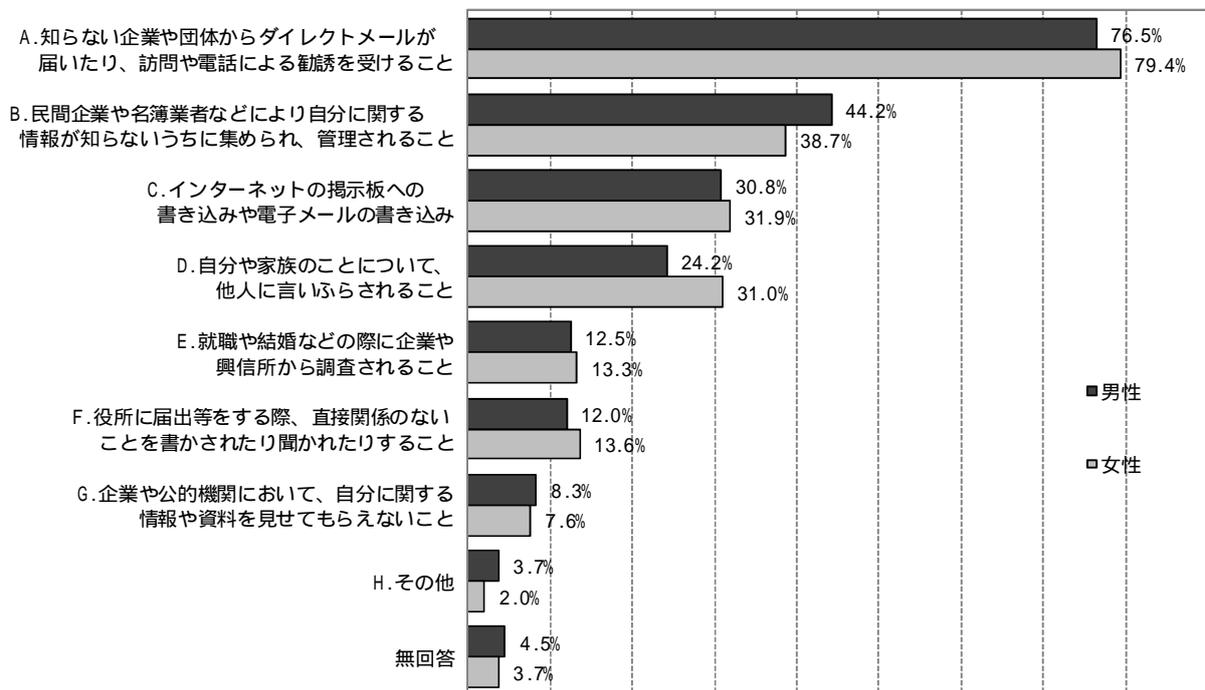
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 23 個人のプライバシーに関して、あなたはどのような場合にプライバシーが守られていないと感じますか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。（はいいくつでも）



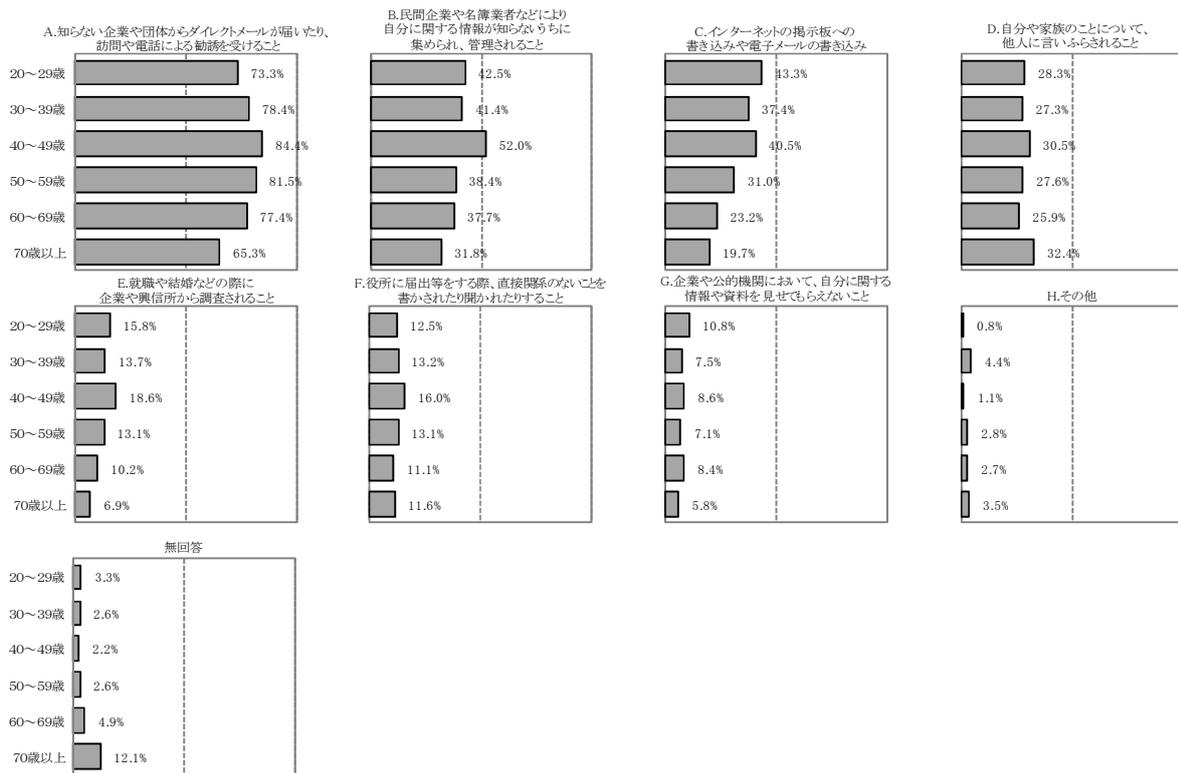
## 【性別・年齢との関係】

[図 31-1] 問 31 個人のプライバシーが守られていないと感じるものと性別の関係



性別でみても[図 31-1]、男女とも「A.知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」が最も高く、次いで「B.民間企業や名簿業者などにより自分に関する情報が知らないうちに集められ、管理されること」、「C.インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」となっている。

[図 31-2] 問 31 個人のプライバシーが守られていないと感じるものと年齢の関係

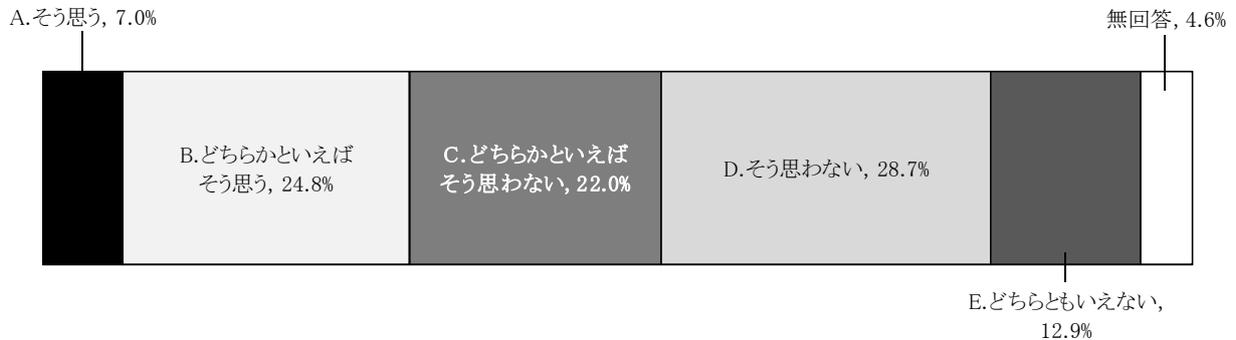


年齢別でも[図 31-2]、「A. 知らない企業や団体からダイレクトメールが届いたり、訪問や電話による勧誘を受けること」が各年代で最も高くなっている。

「C. インターネットの掲示板への書き込みや電子メールの書き込み」では20歳代（43.3%）が、「B. 民間企業や名簿業者などにより自分に関する情報が知らないうちに集められ、管理されること」では40歳代（52.0%）が、「D. 自分や家族のことについて、他人に言いふらされること」では70歳以上（32.4%）が他の年代よりも高くなっている。

### 問 32-①（子どもが結婚するとき－身元調査の必要性）

自分の子どもが結婚するとき、家柄、親の職業や社会的地位などについて、親の立場から相手方の身元調査を行うことはやむを得ないと思いますか。あなたの考えに近いものはどれですか。（ は1つだけ）

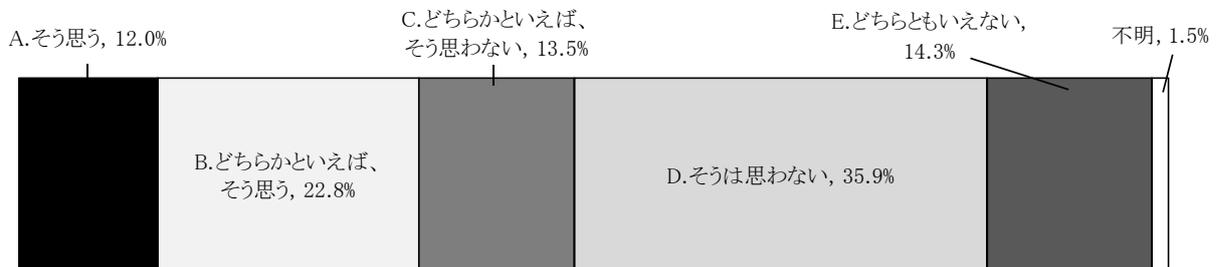


■自分の子どもが結婚するとき、親の立場から相手の身元調査を行うことはやむを得ないと思うかどうかについて、「A. そう思う」、「B. どちらかといえばそう思う」は合わせて31.8%。「D. そう思わない」、「C. どちらかといえばそう思わない」は合わせて50.7%。また、「E. どちらともいえない」は12.9%だった。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が異なっているため、参考としてご参照ください。

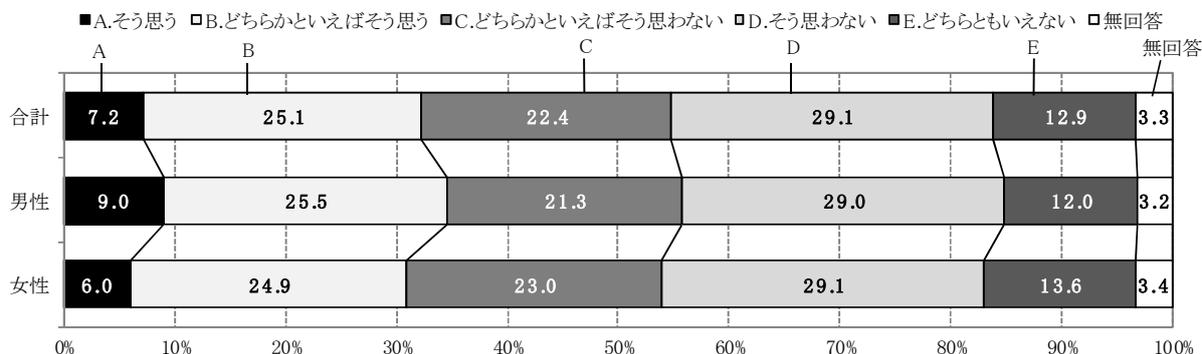
#### H17 同和問題についての県民意識調査

質問 2-1-1 自分の子どもが結婚するとき、家柄、親の職業や社会的地位などについて、親の立場から結婚相手の身元調査を行うことはやむを得ない。  
(子どもの結婚に際し、親の立場から、相手の身元調査を行うことについて聞いた。)



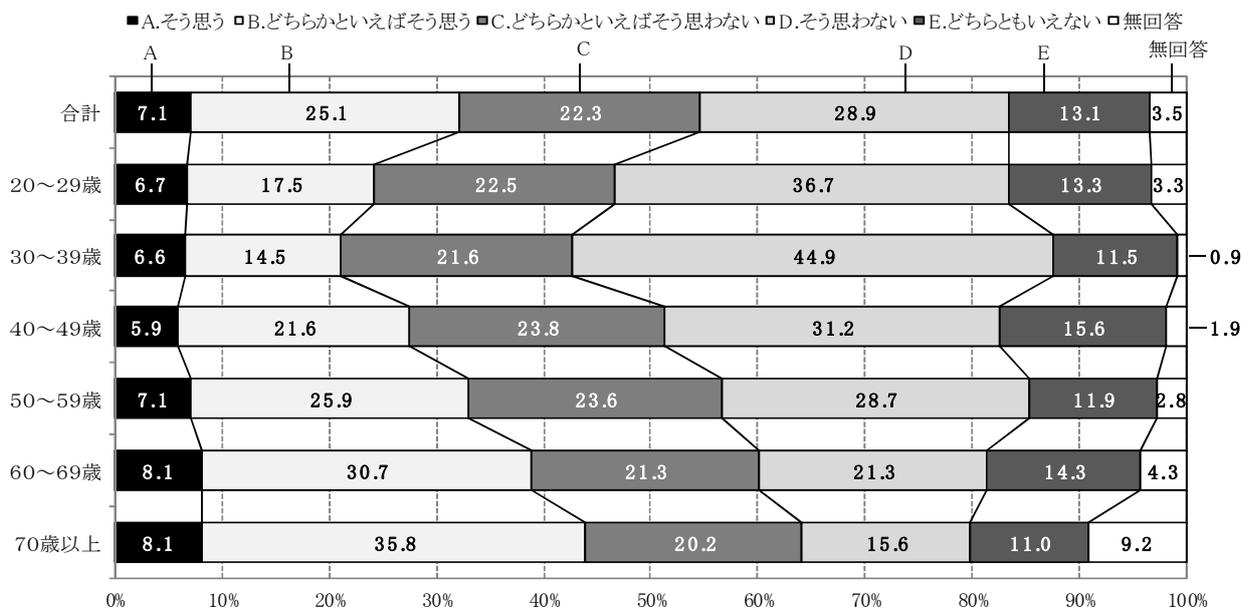
【性別・年齢との関係】

【図 32-1】 問 32-① 子どもが結婚するとき—身元調査の必要性 と 性別 の関係



性別でみると[図 32-1]、「A. そう思う」、「B. どちらかといえばそう思う」を合わせて、男女ともにほぼ 3 割となっている（男性 34.5%、女性 30.9%）。また、「C. どちらかといえばそう思わない」、「D. そう思わない」を合わせて、男女ともにほぼ 5 割となっている（男性 50.3%、女性 52.1%）

【図 32-2】 問 32-① 子どもが結婚するとき—身元調査の必要性 と 年齢 の関係

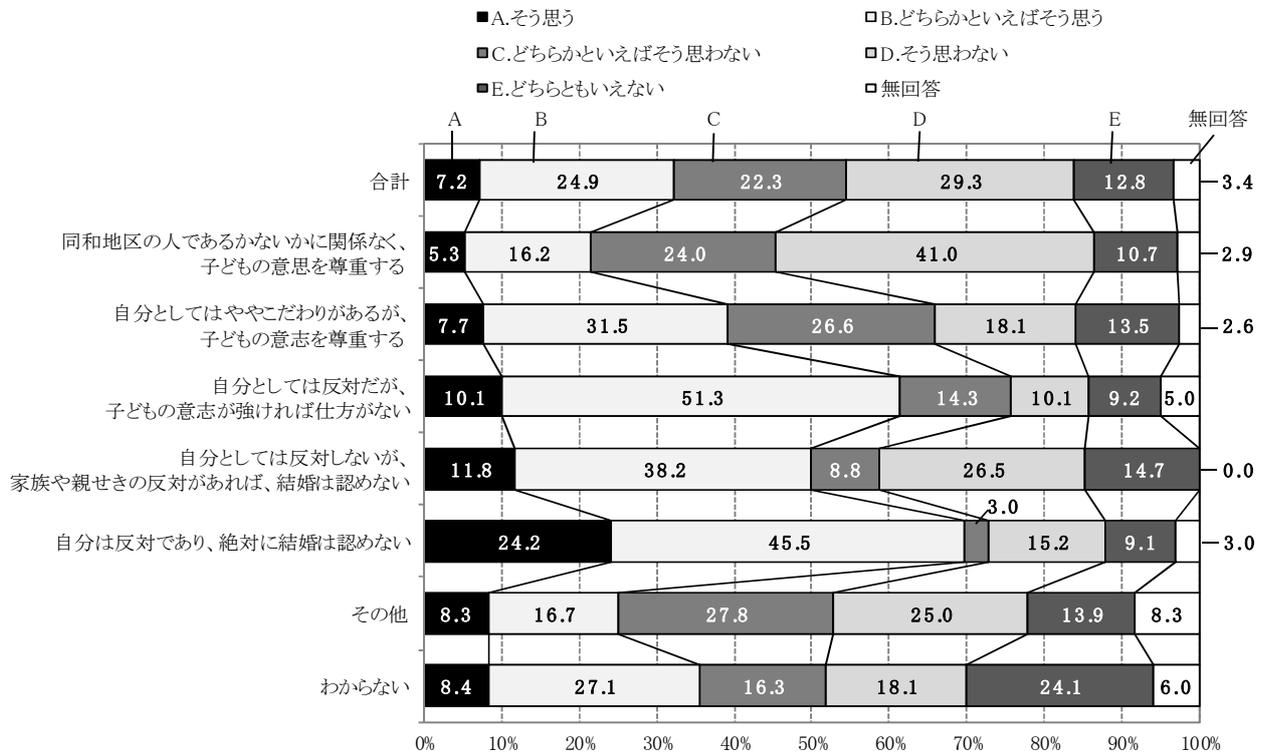


年齢別でみると[図 32-2]、「A. そう思う」、「B. どちらかといえばそう思う」は 30 歳代が 21.1%と最も低く、70 歳以上が 43.9%と最も高くなっている。また、「C. どちらかといえばそう思わない」、「D. そう思わない」は 30 歳代が 66.5%と最も高く、70 歳以上が 35.8%と最も低くなっている。

【他の設問との関係】

[図 32-3] 問 32-① 子どもが結婚するとき—身元調査の必要性 と

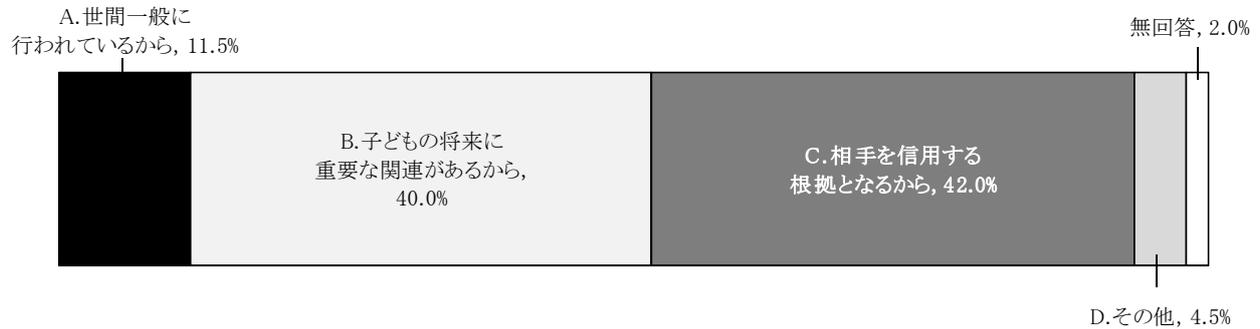
問 14 結婚問題に対するあなたの対応 の関係



問 14 (同和地区出身者との結婚) との関係でみると[図 32-3]、「同和地区の人であるかないかに関係なく、子どもの意思を尊重する」と回答した人では、身元調査に否定的(「C. どちらかといえばそう思わない」、「D. そう思わない」)な意見が 65.0%と高かったが、肯定的(「A. そう思う」、「B. どちらかといえばそう思う」)な意見も 21.5%あった。

### 問 32-②（子どもが結婚するとき－身元調査の肯定理由）

問 32- で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方におたずねします。その理由について、あなたの考えに近いものはどれですか。（ は1つだけ）

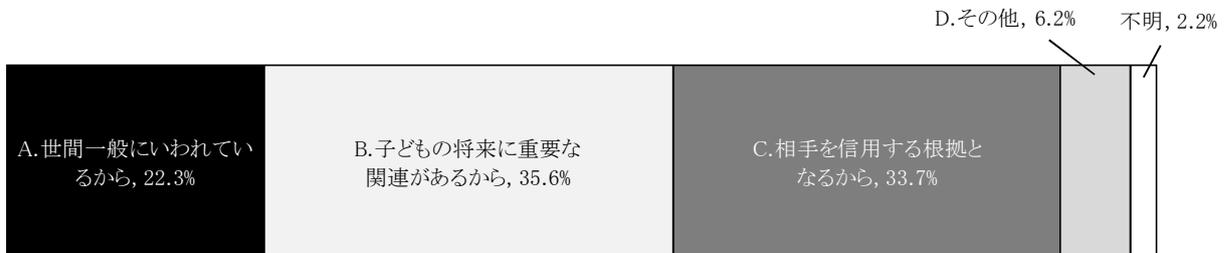


■問 3 2-①で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した理由について、「A. 世間一般に行われているから」が 11.5%、「B. 子どもの将来に重要な関連があるから」が 40.0%、「C. 相手を信用する根拠となるから」が 42.0%となっている。

【 参 考 】 設問文、選択肢の文言の一部が異なっているため、参考としてご参照ください。

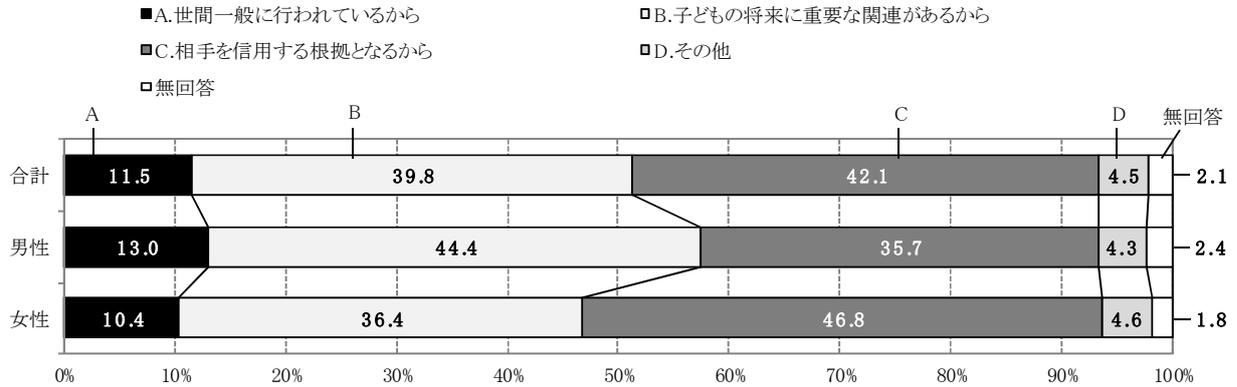
#### H17 同和問題についての県民意識調査

質問 2-1-2 （質問 2-1-1 で）「1. そう思う。」「2. どちらかといえばそう思う。」と答えた方にその理由をおたずねします。あなたのお考えに一番近いもの一つに をつけてください。（ はひとつだけ）



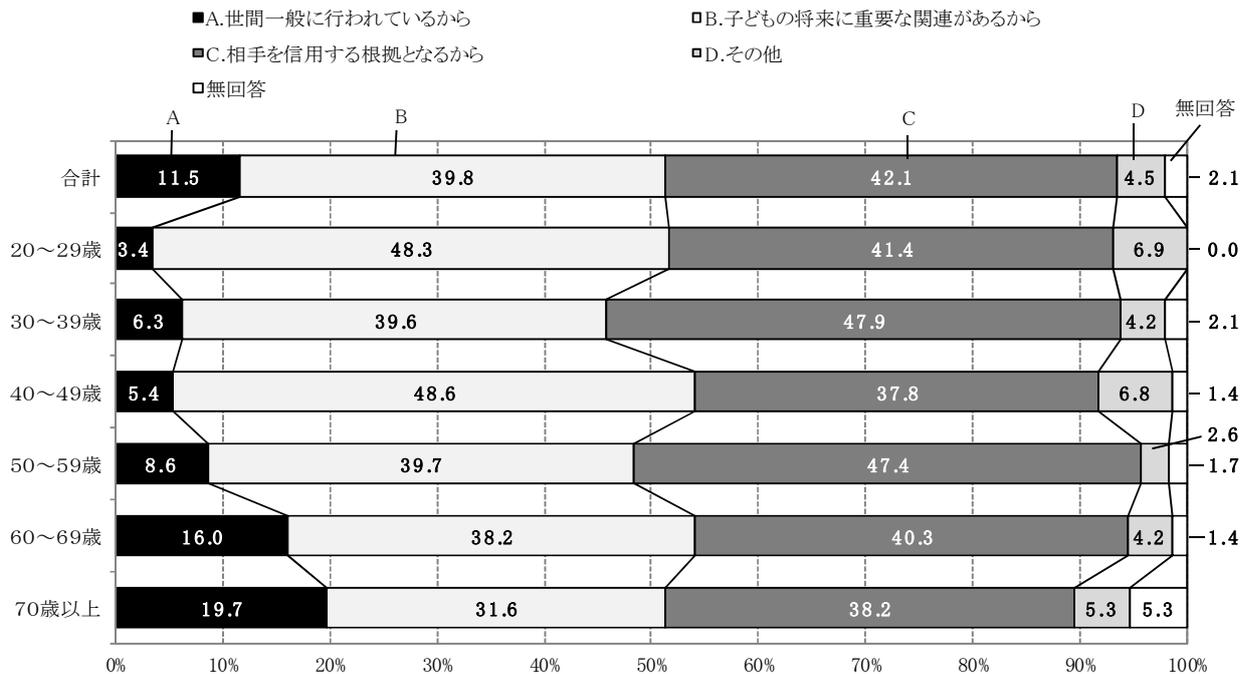
## 【性別・年齢との関係】

【図 32-4】 問 32-② 子どもが結婚するとき—身元調査の肯定理由 と 性別 の関係



性別でみると[図 32-4]、男性では「B.子どもの将来に重要な関連があるから」(44.4%)が最も高く、女性では「C.相手を信用する根拠となるから」(46.8%)が最も高かった。

【図 32-5】 問 32-② 子どもが結婚するとき—身元調査の肯定理由 と 年齢 の関係



年齢別でみると[図 32-5]、20歳代、40歳代では「B.子どもの将来に重要な関連があるから」が最も高く、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「C.相手を信用する根拠となるから」が最も高かった。

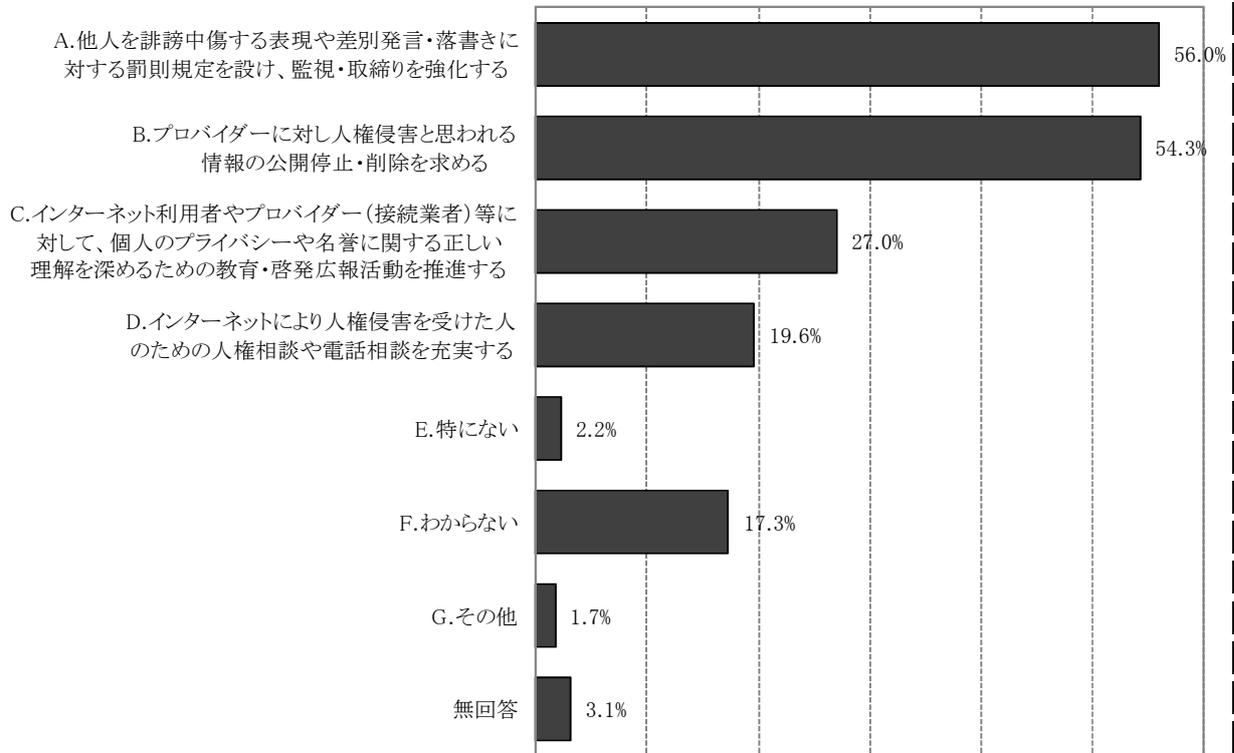
また、60歳代、70歳以上では「A.世間一般に行われているから」が他の年代より高かった。

(注)

このページは、見開き表示のために挿入した空白ページです。

### 問 33 (インターネット上の人権侵害で必要な取り組み)

あなたは、インターネットによる人権侵害を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。( は3つ以内)

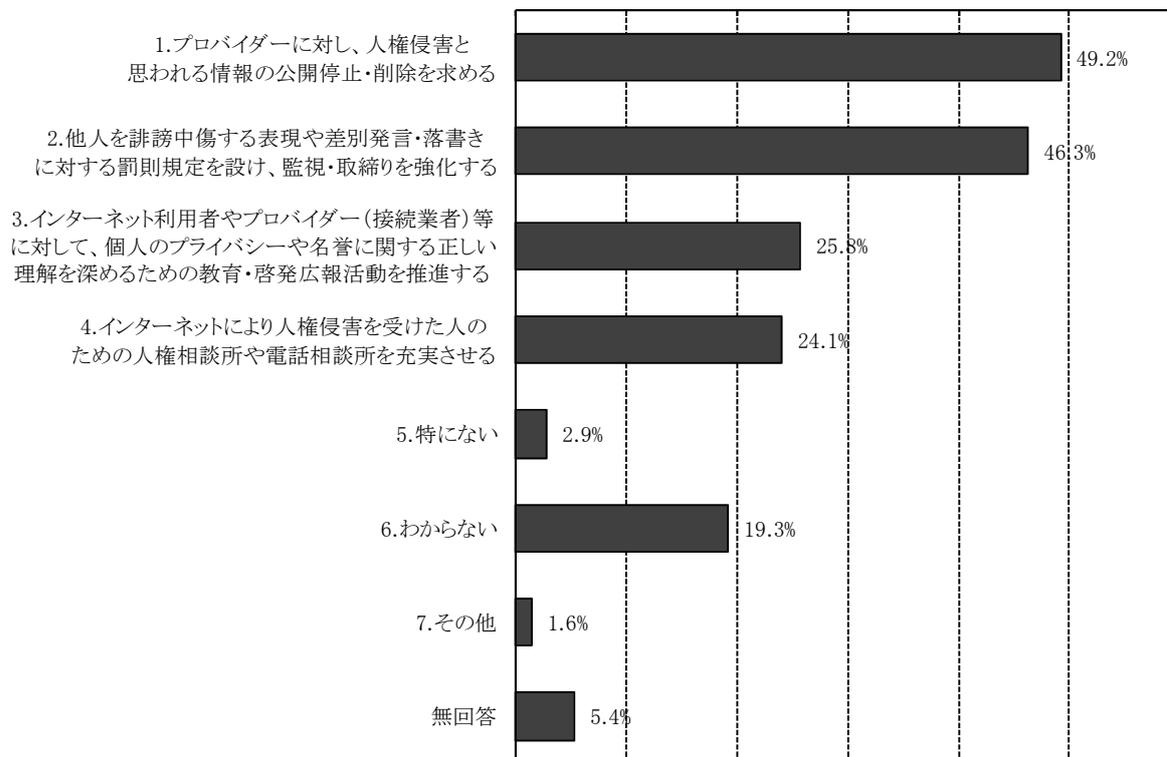


■インターネットによる人権侵害を解決するために必要と思うものは、「A. 他人を誹謗中傷する表現や差別発言・落書きに対する罰則規定を設け、監視・取締りを強化する」(56.0%)、「B. プロバイダーに対し人権侵害と思われる情報の公開停止・削除を求める」(54.3%)が高くなっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

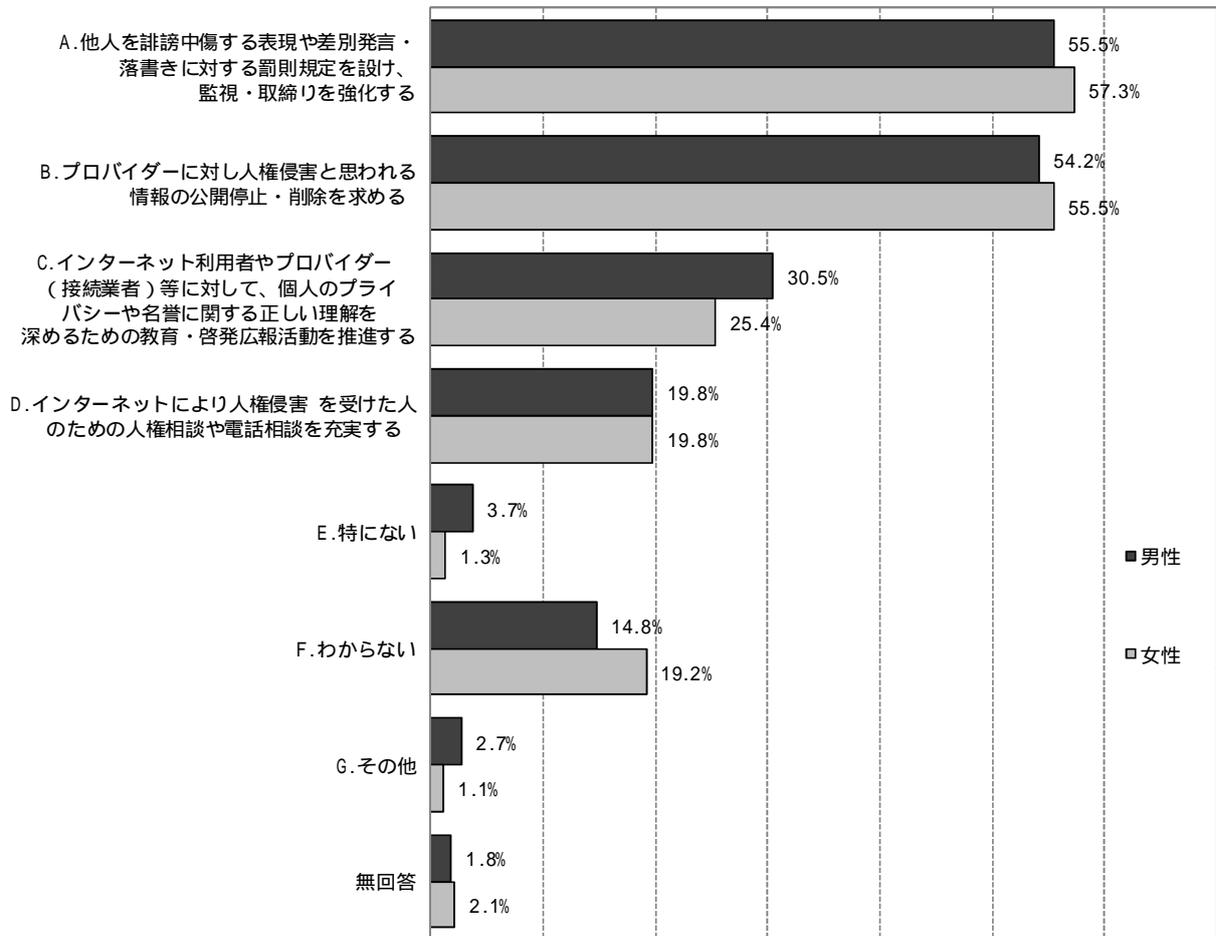
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 25 あなたは、インターネットによる人権侵害を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。  
次の中から特にあなたの考えに近いものを答えください。（ は3つ以内）



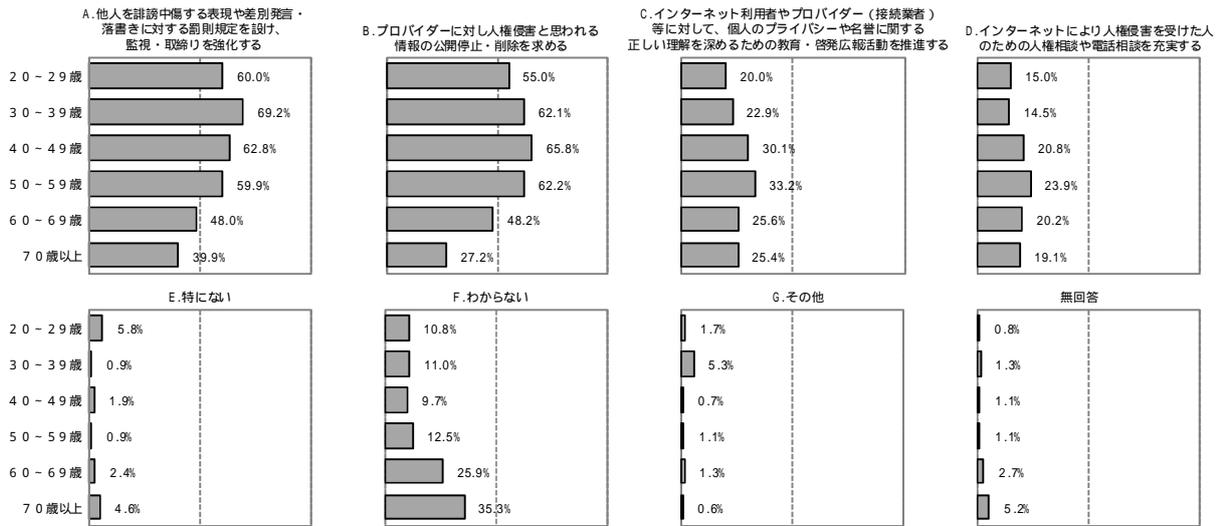
【性別・年齢との関係】

[図 33-1] 問 33 インターネット上の人権侵害で必要な取り組み と 性別 の関係



性別でも[図 33-1]、男女とも「A. 他人を誹謗中傷する表現や差別発言・落書きに対する罰則規定を設け、監視・取締りを強化する」(男性 55.5%、女性 57.3%)、「B. プロバイダーに対し人権侵害と思われる情報の公開停止・削除を求める」(男性 54.2%、女性 55.5%)が高くなっている。

[図 33-2] 問 33 インターネット上の人権侵害で必要な取り組み と 年齢 の関係



年齢別でみると[図 33-2]、「A. 他人を誹謗中傷する表現や差別発言・落書きに対する罰則規定を設け、監視・取締りを強化する」が20歳代(60.0%)、30歳代(69.2%)で最も高くなっており、「B. プロバイダーに対し人権侵害と思われる情報の公開停止・削除を求める」が40歳代(65.8%)、50歳代(62.2%)、60歳代(48.2%)で最も高くなっている。また、「F. わからない」が60歳代(25.9%)、70歳以上(35.3%)で他の年代より高くなっている。